

技能評価システム移転促進事業(SESPP) は日本式技能評価のノウハウを移転するため、ベトナム、カンボジア、インドネシアを対象に日本から専門家を講師として派遣し、セミナーや技能評価トライアルを実施しています。事業の運営事務局を株式会社 J T B 霞が関事業部にて受託しております。

日本式の技能評価の活用促進が図れるよう、J-Skills Newsでは、事業の取組など、お知らせしています。  
(年4回発行)

## □インドネシアで2019年度現地事業評価を実施

SESPP事業の効果的・効率的な実施を図るため、対象国における技能労働者のニーズの把握、広報手法や取組職種・等級の検証、中長期的課題の把握等を行うことを目的として、インドネシアでも2月21日(金)に官民合同委員会を開催しました。

メンバーは現地労働省、関係団体、協力企業のほか、厚生労働省およびSESPP事務局、その他本事業に関係する者で構成され、議題については、当年度事業の実施状況や成果、次年度実施に向けた提案、インドネシアで実施されている金属機械系分野の国家技能認定試験の実施状況、意見交換などを行い、事業効果の検証を行いました。

(参考) 詳細はSESPPポータルサイトにも掲載しています。 <http://sespp.mhlw.go.jp/>

### ■インドネシア

日時・場所	2020年2月21日(金) 09:05-11:40 ; BNSP (インドネシア国家職業資格認証機構)
参加者数	26人 ※政府、関係団体、企業など
今年度実施した職種の成果	・プラスチック成形2級 技能評価トライアル、評価者認定 (新規認定評価者6名誕生) ・CAD製図3級 評価者講習、技能評価トライアル (評価者8名参加)
インドネシア側の動き	・ジョコウィ政権の中期計画の方針を受けて、人材育成に取り組んでいく。
次年度の職種に係る主な議論	・今年度初めて実施したCAD製図を次年度も継続することを検討。 トライアルを一回または二回実施し、SESPPとしての評価者認定も行いたい。



BNSP Kunjung会長のご挨拶



官民合同委員会の様子



委員会終了後の集合写真

## □ 研修レポート

### ■ ベトナム・ハノイで「シーケンス制御2級」の認定評価者が5名誕生

2019年12月16日（月）～20日（金）、ベトナムのハノイ電気機械短期大学（HCEM）にて、シーケンス制御2級の技能評価技法研修（SEM）、技能評価トライアル（SET）及び評価者認定（SAC）を実施しました。評価者はHCEMから3名、サイゴンハイテクパーク訓練センターから2名の計5名の職業訓練指導員。トライアル受検者はミツバ、キヤノン、ブラザー、Hanacans から計5名。講師は、内山 聡氏（株式会社デンソー）で、2017年度にスタートした評価者講習からご担当を頂いており、今回のSETが4回目となります。

今回の評価者認定で5名全員が認定され、SESPPとしてシーケンス制御のベトナム初の認定評価者が誕生しました。内山専門家から、「シーケンス制御は課題を未公開で実施する試験であり、評価者には公平公正に試験を実施するために、PLCの高いプログラミング能力を含めた総合的な技術・技能の蓄積に加え、機密の保持や試験運用の確実な執行が求められます。これまでの講習で積み重ねてきた実績と、SETの運用状態から、十分に評価者としての能力が備わったと判断し認定に至りました。今回認定した評価者の皆さんにはシーケンス制御の更なる研鑽と、後進の技術・技能者の裾野を広げると共に地位向上に努めていただきたいと思います。」というコメントを頂きました。

今後、ベトナムでシーケンス制御が国家検定に向け、当該職種のNOSS（国家職業技能標準）の開発、試験問題集の開発等への取組みが期待されます。



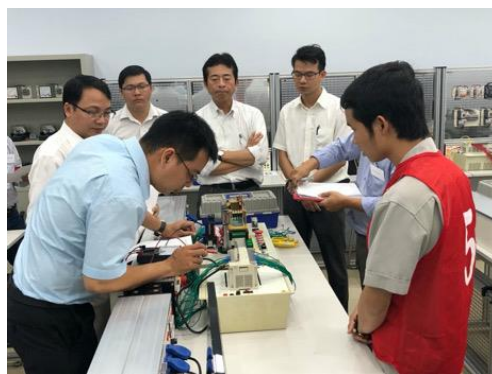
内山専門家による技術指導



学科試験のトライアル



実技試験のトライアル



評価者による実技試験採点（評価）作業

## □ 研修レポート

### ■ インドネシアで新規職種「CAD製図3級」の評価者講習およびトライアルを実施

インドネシアでは、SESPPは過去に金属機械系 7 職種に対して支援を行い、昨年度までに全職種の認定評価者を誕生させました。今年度、新規職種への新たな取り組みということで、2020年2月17日(月)～20日(木)でジャカルタ郊外チカランにあるPT. K.M.K Plastics Indonesiaに多大なご協力をいただき、初めてCAD製図3級の評価者講習および技能評価トライアル (SET) を実施しました。

今回の講習を受講した評価者は PT. Denso Indonesia, PT. KMK Plastics Indonesia, Polman Astra, PT. Terang Parts Indonesiaからの8名。SET受検者はインドネシア金型工業会の会員企業から 22名 (評価者8名を含む)。講師は 西谷 賢二氏 (パナソニック株式会社) にご協力を頂きました。

今回は事前課題で成績の良かったメンバーを中心に評価者として選出を頂いたため、図面の読解力は高く、理解度を深めることができました。西谷専門家からは、「公平に採点をするにはルールに基づいた評価が必要。そのルールを決める、という点が一番苦労したが、評価者の方々には短い講習期間で十分に理解をして頂いた。採点をする際の最大のポイントは、①ルール通りの図面がきちんと書けているか、②書いている図面そのものが正しく書けているか、③寸法がモノを作るにあたって正しく表記されているか、という3点ある。来年度も継続することになったら、是非協力をしていきたい。最後に、送り出す企業に対して、今後、社内ルールは通用しないため、ISOに則った指導と練習をするための試験問題を是非準備してほしい。」という話がありました。



評価者講習 (採点要領の説明)



実技試験のトライアル



採点作業

発行：SESPP事務局 (株式会社JTБ 霞が関事業部)

## 『J-Skills News』に関するお問合せ

SESPP事務局 (株式会社JTБ 霞が関事業部)

〒100-6051 東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビルディング23階  
TEL : +81-3-6737-9263 FAX : +81-3-6737-9266

担当：増沢・近藤・風見

E-mail : [sespp@jtb.com](mailto:sespp@jtb.com)